

# 竹村 牧男

東洋大学名誉教授



1948年、東京生まれ。東京大学文学部卒。同大学院印度哲学博士課程中退。文化庁宗務課専門職員、三重大学人文系助教授、筑波大学教授(哲学・思想学系)等を経て、2002年、東洋大学文学部教授。

2009年9月から2020年3月まで東洋大学学長。現在、筑波大学名誉教授、東洋大学名誉教授。専門は、仏教学、宗教哲学。唯識思想研究で博士(文学)。主な著書に、『唯識三性説の研究』(春秋社)、『入門 哲学としての仏教』(講談社現代新書)、『新・空海論』(青土社)、『良寛 その仏道』(青土社)その他、多数。

小西 達也  
武蔵野大学教授  
教養教育部会科長



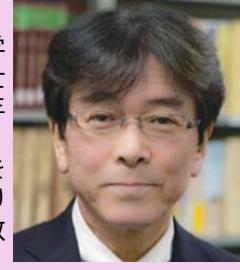
1967年静岡県生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了、米国ハーバード大学神学院修士課程修了、博士(京都大学)。米国カリフォルニア州アルタ・ベイツ・サミット医療センター チャップレン、爽秋会岡部医院チャップレン等を経て2013年より現職。専門はスピリチュアルケア論、スピリチュアリティ論。著書:『仏教とスピリチュアルケア』(共著、東方出版)、『グリーフケア入門』(共著:勁草書房)、『インターフェイス・スピリチュアルケア』(春風社、2023年)。

# 大乗の理念を現代に問う

シンポジウム(鼎談)

下田 正弘

武蔵野大学大学院仏教学研究科長  
・仏教文化研究所長  
東洋大学名誉教授



1957年福岡県生まれ。1989年東京大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学。2006年東京大学大学院教授。2023年3月に東大を定年退職、同年4月より武蔵野大学大学院仏教学研究科長就任、本年より仏教文化研究所長、ウェルビーイング学部教授を兼任。著書:『涅槃經の研究—大乗經典の研究方法試論』(春秋社)、『新アジア仏教史』(全15巻、共編著、校成出版社)、『デジタル学術空間の作り方—仏教学から提起する次世代人文学のモデル』(共編著、文学通信)、『仏教とエクリチュール—大乗經典の起源と形成』(東京大学出版会)

2025年3月1日(土)13時30分～17時 武蔵野大学 雪頂講堂

インドに起源を発する仏教は、長い歴史の過程で『大乗』といわれる仏教へと発展してきました。初期の仏教とは一線を画す思想へと発展したこの仏教は、東洋思想の究極ともいえる高みにまで達し、現代の混迷する世界の状況に向けて、重要なメッセージを発しています。本シンポジウムでは、この仏教の有する意義を、宗教学、心理学、文学、哲学などの広い観点から、照らしだしてゆきます。

聴講無料、申込不要

武蔵野大学 仏教文化研究所  
TEL 042-468-3145  
bukken@musashino-u.ac.jp  
〒202-8585  
東京都西東京市新町1-1-20  
www.musashino-u.ac.jp

大学アクセスはこちら⇒

